

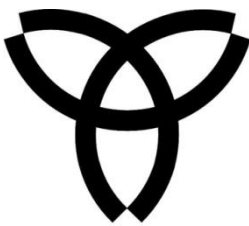
神戸市立西脇小学校

創立 昭和 52 年（1977 年）4 月 1 日

西舞子小・神陵台小・多聞南小・多聞台小 より分離

校名の由来 本校の付近一帯を多聞と呼び、現在では本多聞・多聞台・東多聞などの町名で残っている。この地名の起こりとなった多聞寺は、本校のすぐ東側 200m にあり、重要文化財の藤原期の仏像を祭る名刹である。本校の付近は、この寺の西の脇ということで「西脇」と呼ばれていた。本校の校名は、学校の所在地、旧多聞村西脇の地名を冠したものである。

校章 昭和 52 年 6 月 10 日 制定



西脇の「西」の字をもとに、学校のそばの多聞寺のカキツバタをシンボルフラワーとしてデザインした。古くから開けた旧多聞町の清水が丘・神陵台・南多聞を三つの花びらで表し、それぞれの弧がしっかりと組み合わさっている。ここに学ぶ子どもたちも地域の方々も、みんな健やかにより仲間として、互いに力を合わせ、新しい学校をますます発展させていく願いが込められている。